

# 「主の前に静まり ～感謝の報告を」

詩篇46篇10節～11節

2013.12.29 Alex Tan

## 概観

私たちの目まぐるしく忙しい生活の中で、手の仕事を休め、神の御声を聞くことが少なくなっている。主との一對一の交わりを通して、主からのみことば、平安、慰め、癒し、導きなどが与えられる。お祈りのすばらしい特権を無駄にしないように。

## アウトライン

1. 主の前に静まる大切さ 詩篇46篇10節～11節
2. エリヤは神の御声を聞いた I 列王記19章1節～13節
3. 感謝の報告を忘れるな 詩篇103篇1節～2節
4. 適用と祈り

### 1. 主の前に静まる大切さ 詩篇46篇10節～11節

#### 10節

- ・敵国に警告、イスラエルに慰め
- ・全地、全世界の神

#### 11節

- ・神の臨在は救いである
- ・とりで、拠り所

#### なぜ主の前に静まることが大切なのか？

- ・主との交わりに集中するため
- ・神を知った者は、神をあがめられるようになる
- ・だれが私たちに敵対できるでしょう [ローマ8:31](#)

### 2. エリヤは神の御声を聞いた I 列19章1節～13節

- ・勝利したものの、追い込まれる 1節～3節
- ・失望と落ち込みの恐ろしさ 4節
- ・休息と食事を与えた 5節～8節
- ・なぜ逃げようとしているのか？ 9節
- ・神に本心を訴える 10節
- ・主権者の神に触れる 11節～13節

#### I 列王記19:9～10

私たちの存在の意味は神により与えられる。迷いや確信がないとき、心を注ぎだす祈りをしよう。神様は必ず受け止めて、聞いてくださる。

### 3. 感謝の報告を忘れるな 詩篇103篇1節～2節

#### 1節

- ・全身全霊で神をほめたたえる
- ・神のみ賛美を受けるのにふさわしい

#### 2節

- ・賛美は命令であり、特権である
- ・感謝するために、恵みを思い出す

#### なぜ感謝の報告をするのか？

- ・ひと区切りついて、いっぷくを持つため
- ・今まで神の恵みと介入を振り返るため
- ・次の歩みに神の導きを祈るため [詩篇25:5](#)

### 4. 適用と祈り

#### 適用

- ・断食祈禱、「主よ～」、みことばに留まる
  - ・思いめぐらし、信徒との交わり、心を主に向ける
  - ・静まる場所、生活のただ中で
- “片岡伸光先生 著「**主の前に静まる**」より抜粋”

#### 祈り

あなたとの交わりを第一にできるように、静まることを教えてください。素直に自分の気持ちを祈れるように導いてください。御心がなりますように。